



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

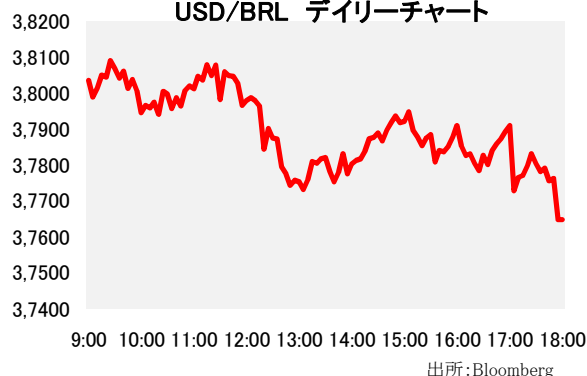
| | | | 11月12日 | 11月13日 | 11月16日 | 11月17日 | 11月18日 | Net Chg |
|-----|---------------|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 為替 | USD/BRL | Spot | 3,7710 | 3,8490 | 3,8190 | 3,8130 | 3,7640 | -0,0490 |
| | BRL/JPY | Spot | 32,51 | 31,89 | 32,27 | 32,36 | 32,82 | +0,46 |
| | EUR/USD | Spot | 1,0798 | 1,0743 | 1,0678 | 1,0652 | 1,0648 | -0,0004 |
| | USD/JPY | Spot | 122,61 | 122,72 | 123,26 | 123,36 | 123,56 | +0,20 |
| 金利 | Brazil DI | 6MTH(p.a.) | 14,876 | 14,830 | 14,823 | 14,800 | 14,809 | +0,009 |
| | Future | 1Year(p.a.) | 15,535 | 15,570 | 15,452 | 15,473 | 15,404 | -0,070 |
| | On-shore | 6MTH(p.a.) | 3,098 | 3,301 | 3,294 | 3,250 | 3,156 | -0,094 |
| | USD | 1Year(p.a.) | 3,985 | 4,088 | 4,125 | 4,114 | 4,009 | -0,105 |
| 株式 | Bovespa指数 | | 46.884 | 46.517 | 46.847 | 47.248 | 47.436 | 188 |
| CDS | CDS Brazil 5y | | 426,00 | 435,60 | 429,10 | 422,45 | 409,50 | -12,95 |
| 商品 | CRB指数 | | 186,428 | 184,767 | 185,416 | 183,713 | 183,604 | -0,11 |

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

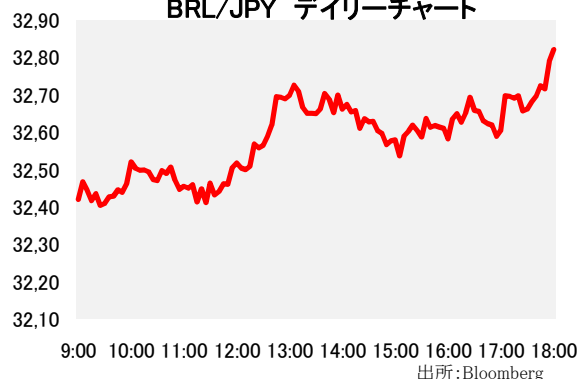
2. 主要経済指標

| イベント | 予想 | 実績 | 前回 |
|-----------------|---------|--------|--------|
| 経済活動(前月比) | -0.50% | -0.50% | -0.76% |
| 経済活動(前年比) | -6.00% | -6.18% | -4.61% |
| CNI産業信頼感 | -- | 36.4 | 35.0 |
| 登録雇用創出合計 | -178900 | -- | -95602 |
| (米)MBA住宅ローン申請指数 | -- | 6.2% | -1.3% |
| (米)住宅着工件数 | 1160k | 1060k | 1191k |
| (米)住宅着工件数(前月比) | -3.8% | -11.0% | 6.7% |
| (米)建設許可件数 | 1147k | 1150k | 1105k |

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

| | |
|----------|-------------------|
| レヴィ 伯財務相 | 鉄鋼輸入の増税は選択肢の一つである |
|----------|-------------------|

4. トピックス

- 本日のレアルは3.8050で寄り付いた。
- 本日は米FOMC議事録の発表を控えてドルが堅調に推移する中、レアルは寄り付き後、直ぐさま安値となる3.8100を付けた。しかしブラジル国内で重要視されていた財政調整が議会で承認されるなど、政治的不安定が和らいだことからレアルは正午を挟んで反転、対ドルでエマージング通貨の中でも最も買われる展開となった。
- 更に実際に米FOMC議事録が発表され、12月に政策金利の引き上げが「恐らく適切になる」ことを強調する文言を10月の声明に挿入したことが明らかになったが、市場では12月の利上げが既に織り込まれていたことからレアルへの影響は限定的となり、レアルは引け間際に本日の高値となる3.7640まで続伸、結局同水準でクローズした。
- 尚、10月の米住宅着工件数は前月比で市場予想以上に減少した。特に集合住宅の着工件数は25.1%減と、14年8月以降で最大の落ち込みとなった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。